

## ■町民手作りオペラ『サンドリヨン』演出家の飯塚励生先生との打合せをしました。

9月28日、29日の両日に、演出家の飯塚励生先生が来町され、関係者で会合を行いました。励生先生にとって、サンドリヨンはオペラの中のトップ5に入る演目だそうです。コロナ禍での公演と言う事で大変ではありますが、やめることは簡単だけど、継続しようとする気持ちを大切に、一緒に素敵な舞台を作りましょうと言う激励をいただきました。その中で、公演内容以前の問題として、新型コロナウイルス感染症対策についてのアドバイスがありましたので、以下に概要をお知らせします。安全第一を念頭におき、感染防止にご注意、ご協力ください。

- ・稽古前に検温を行い、37.0℃以下（通常より厳しい基準）であることを確認してください。
- ・舞台上がる（練習会場入りの）前には、必ず手指消毒を行う。
- ・稽古中は、必ず不織布マスクを着用のこと。
- ・歌うときは、お互い1m離れて立ち、同じ方向を向いて歌う。
- ・向かい合って歌う場合、5m離れる。
- ・歌、又は台詞を言わない場合は、向かい合うことは大丈夫です。
- ・小道具を稽古前と後に消毒する。
- ・小道具を手渡しする場合は、持つ前に必ず手を消毒するか、手袋をして渡す。
- ・子供のダンスの時は、離れて踊ることをお願いします。
- ・子供たちに、衣装としてかわいいマスクをさせたいが、息苦しい又は熱中症の危険があるので、その場合は適宜マスクを外して大丈夫です。
- ・稽古場の換気は、30分から1時間毎に必ず行う。CO2センサーを今後導入します。二酸化炭素濃度が1,000ppm以上になったら換気、休憩とします。

## ■今後の練習について ※11月までの通常の練習予定は、合唱通信2号をご覧ください。

- 11/21（日）は、マエストロ稽古です。10分前から発声練習を行います。
- 11/23（祝）は、演出家の飯塚励生先生、指揮の高橋裕之先生、一部ソリストも参加しての練習です。合唱団、出演者、子供たちを含め、全員13時に多目的ホールに集合してください。子供の出演に関するところから、ステージで動きの練習があります。出番まで合唱団は多目的ホールで歌の練習を行います。終了時間は、練習の進み具合により異なりますが、ご案内の通り最大で18時の予定です。長い時間となりますので、飲み物など必ずお持ちください。
- 11/28（日）は、精霊14時から、合唱15時から練習を行います。御蔵入交流館が利用できないため、会場決まりましたらお知らせしますので、ご予約ください。
- 12/5（日）、12（日）も同様に練習する予定です。詳細は後日お知らせします。
- 12/17（金）は、場当たりを行います。17時から子供及び精霊の合唱で参加できる方。19時から合唱団の出演部分を行います。21時終了予定ですが、多少前後します。
- 12/18（土）は、14時からゲネプロ（本番と同様の通しリハーサル）を行います。13時多目的ホール集合で、本番の衣装、靴を着用（メイクは不要）、発声練習を行い待機します。ゲネプロ終了後、直しなどを行います。夕方には終了します。
- 12/19（日）、本番の日ですが、みんなで食事することを避けるため、昼食を済ませて12時多目的ホール集合の予定ですが、変更となる場合はお知らせします。

## ■さいごに

励生先生との打合せでは、特に衣装、大道具、小道具関係のスタッフが長時間に渡り意思疎通を図り、12月の本番に向けてギアを1段あげて準備を進める体制となりました。合唱班では、原先生にもご参加いただき、確認作業を行いました。残り3カ月を切り、不安な面も多々ありますが、先ずは健康第一で準備していきましょう。ご不明な点があれば、御蔵入交流館0241-62-6311 担当:星貴晴（ほしたかはる）までお問い合わせ下さい。※裏面もあるよ!!

文責：オペラ『サンドリヨン』合唱班 有賀伸一（ありがしんいち）

■9月までの練習(第1幕)で指示のありました注意点をまとめましたので、確認してください。

※ 主に、アルト、男声パートでの指示が中心なので、ソプラノとは合わない場合もあります。

- P 4、下段、4 小節 最初の言葉「よ」に意識。「よ」の前に「い」を付けた「IYO」のイメージで。  
オペラでは、言葉が聞こえるように、最初の子音を特に強調する。
- P 5、上段、1 小節 ベルが の「ベ」は唇を合わせ破裂させる  
2 小節 鳴りつづけ の「な」は、前に「ん」をつけたイメージ「NNA」で、「N」を前に出す
- P 5、下段、1 小節 来るよ の「よ」は伸ばさない。「!」が付いているのは、叫び、嘆き等の意味
- P 6、上段、2 小節 ピアノ伴奏が目立つ部分なので負けないように。  
何度も出て来る「おくさま」という言葉を意識する。言葉を立てる。  
「おくさまが来る」の「くる」の部分を強める。助詞はアクセントにならない  
2 小節 「来るよ」の部分の歌詞を、男声は「来るぞ」で歌う(以降同様)
- P 7、上段、1 小節 すぐに の「す」は、子音「S」を前に出す  
3 小節 ここへ の「こ」は、子音「K」を前に出す  
下段、1 小節 来るよ の「く」は、子音「K」を前に出す  
4 小節 しっかり伸ばして、しっかり切る
- P 8、上段、1 小節 「(f)どうしよう」は、思わず口に出た言葉、「(p)どうしましょう」は内面の言葉を  
表しているの、強弱にメリハリを。どうしよう の「ど」をはっきり  
3 小節 気みじかで のスタッカート意識。以降も同様に
- P10、上段、1 小節 来る の「る」は(ff) 恐怖感からのさけび  
2 小節 ムシュ は、スタッカートで言い切る。奥様が来ると思っていたら、ムシュだったので、コケるところ。(な～んだ、ムシュだった)
- P12、上段、1 小節 ムシュ の「ム」のアクセント意識する  
2 小節 あなたは の「は」のテヌートは無し。やさしいはやさしく歌う  
3 小節 いつもいつもいつも は、真ん中の「いつも」に山をもっていく
- P13、上段、2 小節 おにばば の「ばば」は強く言い切る。さけぶ!感じ、演出が入ると思われる
- P14、上段、1 小節 やさしいかた の「や」は「イ」をつけて「IYA」と歌う
- P15、2 段目、1 小節 3 拍目の4分休符を8分休符と8分音符に、おくさを1音ずつあてる  
気持ちが爆発する(fff)、言葉をたてる。「あっ」を強く。  
おにばば を言い切る。口を開けたまま!
- P40、下段、1 小節 おくさま! 「!」叫びの意味、言い切る、びっくりした顔、口あけっ放し!
- P44、下段、2 小節 ハハがさいく は、同じ響きになるように、同じところで響かせる  
4拍目の16分休符に注意
- P46、下段、1 小節 とても不似合い のスタッカートはお腹を使ってしっかり  
アルト、男声、ソプラノがリレーするように
- P48、上段、1 小節 「Haha」「ほんと」の部分 f pp を意識する
- P49、下段、1 小節 ほんとうにひどい の「ど」のアクセントを意識する  
2 小節 ふたりとも の「ふ」のアクセント意識する(2回とも)
- P50、上段、1 小節 どちらの のスタッカートを意識、しっかり音を切る。  
あくしゅみ の「あ」は小さい「っ」をつけて「あっく」のように歌う  
2 小節 とても の「と」のアクセントを意識、「とつても」のように歌う
- P51、上段、1 小節 うわさになるはず のスタッカートを意識する  
下段、1 小節 あくしゅみ の「あ」にアクセント
- P68、 6 小節 4分の2拍子に変わる。ほら の「ほ」は、子音(H)を前に出す
- P69、 3 小節 ひどい の「ひ」は、子音(H)を前に出す
- P70、 4 小節 ごらん の「ん」(N)をしっかり発音
- P71、 3 小節 すがた の「す」を意識する
- P72、 2 小節 Ha!Ha!Ha!Ha! は、笑いの意味
- P73、 2 小節 4分の4拍子でテンポ(♩=80)も変わる。「さあ」の入りは指揮者に合わせる。